

取組の概要

配偶者の**出産直後の男性の休暇取得**を促進し、働き方に関する意識改革、男性の家事・育児への参画を促す取組。

2020年に80%が目標（現状（2016年度調査）：55.9%）

男性の配偶者の出産後2か月以内に半日又は1日以上（年次有給休暇、配偶者出産時等に係る特別休暇、育児休業など）の取得率。（少子化社会対策大綱（平成27年3月20日閣議決定）の数値目標）

例えば、

子供が生まれる日、子供を自宅に迎える日、出生届を出す日には、パパが休暇をとることが当たり前の文化に！

主な広報・啓発活動の概要

平成27年6月29日

さんきゅうパパプロジェクト キックオフシンポジウムの開催
安倍内閣総理大臣を表敬訪問、さんきゅうパパの取組報告

平成27年11月、平成28年10月、平成29年11月、平成30年10月

たまひよファミリーパークin横浜において、ブース出展（パネルアンケート）、有識者の講演の実施、啓発用冊子の配布。

平成28年3月13日

加藤大臣の「GROWING with DAD!」の視察

平成29年6月16日

男性の家事・育児の必要性、子育て目的の休暇取得の現状等についての特集を掲載した「少子化社会対策白書」を公表。

平成29年10月

啓発冊子「さんきゅうパパ準備BOOK」（改訂版）の発行

少子化社会対策大綱（平成27年3月20日閣議決定）
（抜粋）

重点課題

（4）男女の働き方改革を進める。

長時間労働などにより、男性の家事・育児への参画が少ないことが、少子化の原因の一つであり、従来の働き方に関する意識を含めた改革が必要不可欠である。

（男性の意識・行動改革）

長時間労働の是正に加え、人事評価制度の見直しなど経営者・管理職の意識改革を促す。また、**男性が、出産直後から育児を行えるよう、出産直後の休暇取得の促進**など、実効性の高い方策を推進する。

施策に関する数値目標

男性の配偶者の出産直後の休暇取得率 **80%**
（2020年）

広報・啓発ツール（冊子・ポスター）



さんきゅうパパ
プロジェクト

夫婦で読む、男性の「産休」スタートブック「さんきゅうパパ準備BOOK」

「さんきゅうパパ」は産後に休みをとるパパのことをいい、「さんきゅう」は「産休」と「Thank you」を示しています。

少子化社会対策大綱（平成27年3月20日閣議決定）（抜粋）

重点課題

（4）男女の働き方改革を進める。

長時間労働などにより、男性の家事・育児への参画が少ないことが、少子化の原因の一つであり、従来の働き方に関する意識を含めた改革が必要不可欠である。

（男性の意識・行動改革）

長時間労働の是正に加え、人事評価制度の見直しなど経営者・管理職の意識改革を促す。また、男性が、出産直後から育児を行えるよう、出産直後の休暇取得の促進など、実効性の高い方策を推進する。

施策に関する数値目標

男性の配偶者の出産直後の休暇取得率

80%（2020年まで）

2016年度調査では55.9%

29.1%の父親が休暇を取得しようと思っていたものの取得しなかった

パパが産休 家族にサンキョウ



さんきゅうパパ プロジェクト

「さんきゅうパパ」は産後に休みをとるパパのことをいい、「さんきゅう」は「産休」と「Thank you」を示しています。パパが休暇を取ることで、出産してくれた妻に、生まれてきた我が子に感謝しようという意味を込めています。

さんきゅうパパプロジェクト キックオフシンポジウム



さんきゅうパパプロジェクト 総理表敬



【安倍総理の御発言】

「配偶者が出産して、男性も産休をとると言うことが、だんだん常識化していくことが大切であり、経済界、自治体と協力して頑張っていけないといけない」



たまひよファミリーパークin横浜における内閣府ブースの様子



真剣に選ぶ
パパ・ママ

赤ちゃんが生まれたら パパも休もう！

パパが産休 家族にサンキョウ



さんきゅうパパ
プロジェクト

パパが産後休むことを
当たり前の社会に。



こんな日に、休暇を取ってみては
いかがでしょうか？

- ◎ 子供が生まれた日
- ◎ 退院する日
- ◎ 出生届を出す日